



白井清士 Kiyoshi Shirai
 医療法人財団興学会 新橋歯科診療所 院長
 昭和54年日本歯科大学卒業、平成14年医療法人財団興学会理事長就任、平成14年より同会新橋歯科診療所院長を務める一方、最新歯科治療を全国に広めるべく活動中。
 医療法人財団興学会 新橋歯科診療所
 港区新橋6-2-1 木村ビル1F
 TEL:03-3437-3880
 www.kougakukai.com

前回歯科医療の最前線についてうかがいましたが、今回は歯と臓器の関係、さらに健康維持について、お話を聞きしました。

歯と臓器の密接な関係

——癌をはじめ、様々な病気に歯が関係あると聞きますが？

歯は、物を噛む器官というだけではなく、健康を司る重要な役割を果たしています。歯を治療することによって肩こりや花粉症などのアレルギー、さらには原因不明の難病、癌に至るまで治り、若さを保つことができると言われております。

表にあるように、歯と神経さらには

食事だけでは排出不可能

欧米化された日本の食糧事情では、個人差はありますが健康な身体を維持するためにはビタミン、ミネラルが足りないのは明らかです。ましてや蓄積された有害ミネラルの排出となると食事ではとても不可能なのです。蓄積された有害ミネラルを排出するためには、厚労省で定め

られた容量の数倍の優良なビタミン、ミネラルの摂取が必要となります。

優良なビタミンとミネラルとは

ところでビタミンやミネラルならばなんでもいかにとうとそうではありませぬ。吸収はもちろぬ、排出に優れているのは、自然由来のもので、す。というのも天然型のビタミンは化学合成のものとは違って球形で吸着面が多く、それは体内への吸収と排出に優れ、過剰摂取による体への悪影響がありません。

その点で現代人は天然型のビタミン摂取を心がけるべきなのですが、近年技術の進歩により新しい製造方法の天然型ビタミンサプリメントが生み出されました。「バイオ・トランスフォームド」と言われる製法で、アメリカで開発されました。酵母にオリジンなどの自然ビタミンを注入し、その酵母が自然に増えたところで、酵素でタンパク質を溶かし、噴霧乾燥によって自然ビタミンだけを取り出すという画期的な製造方法です。

健康維持のために

体の各部位は部分として独立して機能しているのではなく、全体の

者が症状の改善がみられたと言う信じられない成果を上げているのです。

その治療方法は、入院したその日に口腔内のチタン以外の金属を基本的に全て摘出し、セラミック素材に入れ替えるというものです。このクリニックでは、不良な金属は口腔内でガルバーニ電流を発生させ、それが臓器を刺激し続け、ほとんどの病気の根本的原因となっていると考えられているからです。

体内の重金属がもたらす害

日本の歯科治療においても一九七〇年前後に盛んに使われた重金属にアマルガムやパラジウムがあります。アマルガムはその製造に水銀が五〇%以上使われる金属です。微電流により溶けだした水銀が口腔内でバクテリアと反応し、極めて有毒な有機水銀となるということは周知の事実です。

またアマルガムに限らず電流を発生する口腔内金属は、蓄電池のように電流を発生し自律神経や脳への影響も重大で記憶力の低下にもつながります。免疫力の低下には色々な原因が考えられますが、口腔内金属だけではなく、様々な原因によって蓄積された、水銀、アルミニウム、

鉛、ヒ素、カドミウム、ニッケル、スズなどの有害ミネラルが考えられます。

有害なミネラルの排出方法

重金属は有害ミネラルの排出には、大量の優良なビタミン、ミネラルが必要になります。身体が正しく機能するために、ビタミン、ミネラルを総合的に摂取することが必要なのですが、優良なビタミン、ミネラルを食物から取ることは現代では不可能と思われる。なぜなら昨今の野菜からは十分なビタミンとミネラルが期待できないためです。

過去百年における農地のミネラルの枯渇度合の変化ですが、なんと百年前と比べるとほうれん草に含まれるミネラルは六分の一以下になっているのです。

またアマルガムに限らず電流を発生する口腔内金属は、蓄電池のように電流を発生し自律神経や脳への影響も重大で記憶力の低下にもつながります。免疫力の低下には色々な原因が考えられますが、口腔内金属だけではなく、様々な原因によって蓄積された、水銀、アルミニウム、



天然型 化学合成型



Daily Life Pack バイオ・トランスフォームドで製造されたビタミンサプリメント。P129.GOODGOODSでも紹介しています。

器官と歯科領域の効果的関連性(「最先端医療 徹底解説」より一部)

感覚器官	内耳舌	舌	鼻	目の背部	鼻
関節部	肩甲骨の尺骨(内側) 肘の尺骨(尺骨側) 手の尺骨(内側)	顎	肩甲骨の喙頭(内側) 肘の喙頭 手の橈骨(内側)	膝の後部	仙尾骨の関節部
足関節部	足底側 足の指	股関節前部 膝前部	足、親指	足関節部	足関節部
仙骨と腸骨の関節部	仙骨(中央)	足関節部	側部	後部	
器官	右心 十二指腸の右側	脾臓 食道 胃の右側	右肺 大腸右側	肝臓右側 胆嚢 膵臓の右側	腎臓の右側 膵臓の右側 十二指腸 盲腸 紅門管
顎切開部	上顎	V.	N.	III.	II.
アマルガムに対する用量(命名法)	1	2	3	4	5
国際的用途(命名法)	18	17	16	15	14
歯の図	右側	8+	7+	6+	5+
歯の番号					

『歯と臓器、驚きの関係
そして健康のために』

医療法人財団 興学会 新橋歯科診療所
白井 清士 院長に聞く

歯と臓器に相関関係があるのです。歯は自律神経や血圧、全身の筋肉や骨との連結作用により、体の健康と老化(エイジング)に深くかわり、さらには生命中枢機能において重要な役割を果たしていることがわかっていきます。

驚異的な治療力を誇るクリニック。その治療方法

欧米諸国では、歯と身体の関係について早くから着目し、特に歯科治療で使用する重金属が生体に及ぼす影響は大きく、全ての難病や慢性疾患に重大な関係があるという研究が進んでいます。いわゆる難病や慢性疾患、癌の治療に、歯科医と内科医の協力体制による医療チームを作った治療にあたる専門病院もすでに幾つかあります。

スイスにあるパラセサスクリニックがそのひとつで「自然治療」で世界的に有名なクリニックです。このクリニックが癌治療の治癒において驚くべき成果を上げています。

「メスを使わない歯科医と内科医の治療において」、乳癌のステージIの患者のうち九〇%が完治、末期癌の臓器癌の二〇%が完治、ステージIVを含めた全癌患者のうち五〇%が完治、難病を含む百%の患

者が症状の改善がみられたと言う信じられない成果を上げているのです。

その治療方法は、入院したその日に口腔内のチタン以外の金属を基本的に全て摘出し、セラミック素材に入れ替えるというものです。このクリニックでは、不良な金属は口腔内でガルバーニ電流を発生させ、それが臓器を刺激し続け、ほとんどの病気の根本的原因となっていると考えられているからです。

体内の重金属がもたらす害

日本の歯科治療においても一九七〇年前後に盛んに使われた重金属にアマルガムやパラジウムがあります。アマルガムはその製造に水銀が五〇%以上使われる金属です。微電流により溶けだした水銀が口腔内でバクテリアと反応し、極めて有毒な有機水銀となるということは周知の事実です。

またアマルガムに限らず電流を発生する口腔内金属は、蓄電池のように電流を発生し自律神経や脳への影響も重大で記憶力の低下にもつながります。免疫力の低下には色々な原因が考えられますが、口腔内金属だけではなく、様々な原因によって蓄積された、水銀、アルミニウム、

鉛、ヒ素、カドミウム、ニッケル、スズなどの有害ミネラルが考えられます。

有害なミネラルの排出方法

重金属は有害ミネラルの排出には、大量の優良なビタミン、ミネラルが必要になります。身体が正しく機能するために、ビタミン、ミネラルを総合的に摂取することが必要なのですが、優良なビタミン、ミネラルを食物から取ることは現代では不可能と思われる。なぜなら昨今の野菜からは十分なビタミンとミネラルが期待できないためです。

過去百年における農地のミネラルの枯渇度合の変化ですが、なんと百年前と比べるとほうれん草に含まれるミネラルは六分の一以下になっているのです。